

平成28年度業務報告書

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

1. 会務

(1) 総会の開催

1) 第73回定時総会

- ア 開催期日 平成28年6月24日(金)
- イ 開催場所 群馬県JAビル10階 第2会議室
- ウ 議事と決議事項
- 第1号議案 平成27年度貸借対照表、正味財産増減計算書承認の件
- 第2号議案 平成28年度役員報酬の件
- 第3号議案 平成28年度会費並びに納入時期の件
- 第4号議案 理事及び監事の任期満了に伴う選任の件
付帯決議

(2) 会議の開催

1) 理事会

開催期日	開催場所	決議事項
28.6.9	群馬県JAビル 役員会議室	(1)平成27年度業務報告、計算書類等の承認について (2)第73回定時総会の招集について (3)第73回定時総会に提出する議題について
28.6.24	群馬県JAビル 第3会議室	(1)役付理事の選任について (2)重要な使用人の選任について
28.11.18	群馬県JAビル 役員会議室	(1)平成28年度変更事業計画及び補正予算の承認について
29.3.17	群馬県JAビル 特別会議室	(1)平成29年度事業計画及び収支予算の承認について

2) 監査会

開催期日	開催場所	内容
28.6.1	群馬県JAビル 第3会議室	(1)平成27年度業務報告について (2)平成27年度計算書類について

(3) 職務執行状況の報告

期日	報告場所	内容
28.6.9	群馬県JAビル 役員会議室	(1) 職務執行状況報告 (2) 第21回理事会の開催について
28.11.18	群馬県JAビル 役員会議室	(1) 職務執行状況について
29.3.17	群馬県JAビル 特別会議室	(1) 事業費の執行状況 (2) 事業及び経理上生じた重要事項 (3) 行政庁に対する届け出のうち重要なもの

2. 組織

(1) 会員

種別	28年度初	増加数	減少数	28年度末
正会員	53			53
特別会員	29			29
賛助会員	5			5
計	87			87

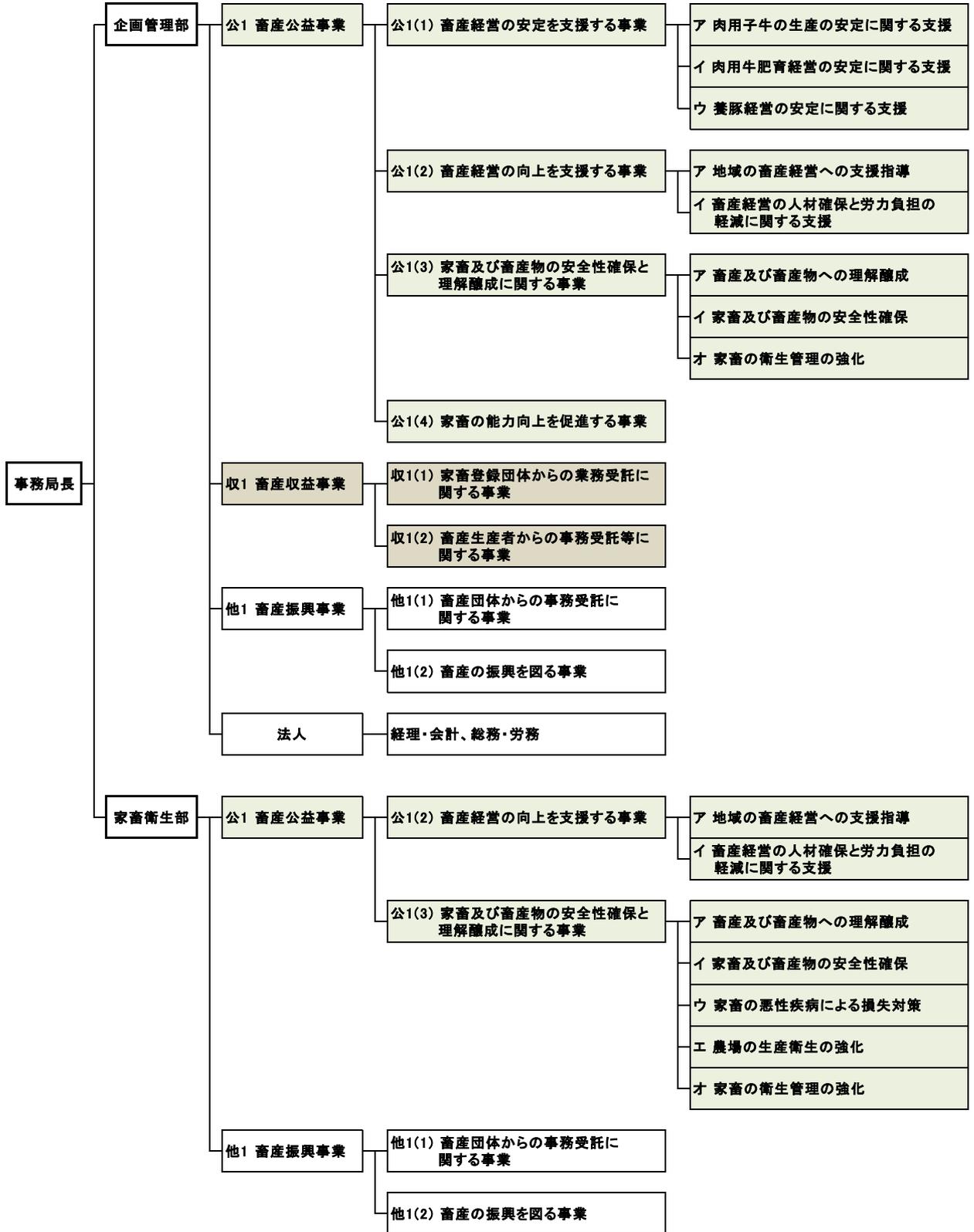
(2) 役職員数 (平成28年度末)

役員			職員			
理事		監事	計	職員*	期間契約 ・ 嘱託	計
非常勤	常勤					
15	1	2	18	15	8	23

* 群馬県農業協同組合中央会からの出向職員1名を含む

(3) 事業・事務局組織体系図

下図のとおり



3. 実施事業の実績

(1) 概要

平成28年度においては、公益目的事業62事業、収益等事業15事業の合計77事業を実施しました。

公益目的事業のうち畜産経営の安定を図る事業においては、高価格で推移している、もと牛導入の影響が大きい肥育牛経営に対して、肉用牛肥育経営安定特別対策事業（牛マルキン）による補てんが行われました。その他の肉用子牛、肉豚においては、前年同様、販売価格の高値が続いたことから、基金の発動は行われませんでした。

畜産経営の向上を図る事業においては、経営実績に基づく改善情報の提供、各種調査や畜産特別資金の指導事業を継続的に行ったほか、女性・リタイヤ世代の就農関連事業、肉用牛の技術水準情報を生産者に提供する事業を新たに実施しました。また、TPP総合関連対策として前年度に事業開始となった畜産クラスター事業については、引き続き本会が機械導入事業の県窓口として、クラスター計画に基づく導入申請等を行いました。

家畜および畜産物の安全性確保と理解醸成に関する事業では、オーエスキー病清浄化の進展に伴い、予防衛生を促進するためのワクチン接種、BSE対策としての死亡牛処理円滑化等の事業を前年度に引き続いて実施するとともに、新たな豚疾病対策事業や飼養衛生管理基準を啓発普及する事業を拡充して実施しました。また、畜産への消費者の理解を促進するために、牧場体験やイベントにおける広報活動を実施しました。

さらに、家畜の能力向上を促進する事業では、優良種畜の導入や飼養頭数増加に取り組む生産者への支援、各畜種の共進会開催を行いました。特に肉用牛経営安定対策補完事業による繁殖雌牛の増頭への支援では、その対象頭数が大きく増加しました。また、今年9月に開催される第11回全国和牛能力共進会への出品牛対策を引き続き実施しました。

収益等事業では、前年に引き続き乳牛、和牛、豚、山羊の各家畜の血統登録を積極的に推進したほか、養豚の価格差補てん事業への参加に必要な事務を生産者から受託して行いました。また、県内生産者団体等からの事務を受託して、地域の畜産振興に努めました。

平成28年度は前年と同様に畜産物価格は堅調な推移でしたが、価格差補てん関係事業への加入頭数や家畜登録・登記頭数の動き等を見ると、依然、生産基盤の縮小が続いていることは明らかです。今後、本協会としても既存事業を継続して行うとともに、畜産を取り巻く中長期的な課題や実態を十分に踏まえて、生産者の意欲を高めるための対策、生産基盤を支援する事業に積極的に取り組んでいく必要があると考えます。

(2) 事業の実施状況

1) 会計区分別実施事業内訳

会計区分	補助事業	助成事業	特別事業	受託事業	家畜登録	事務受託	自主事業	計
公1(1)経営安定支援	3			1			1	5
公1(2)経営向上支援	6	1	1	6			7	21
公1(3)安全・理解	6	1		10			8	25
公1(4)能力向上	5		2	1			3	11
収1(1)家畜登録					6			6
収1(2)生産者事務						1		1
他1団体事務						8		8
合計	20	2	3	18	6	9	19	77

2) 補助元等区分別実施事業内訳

補助元等区分	補助事業	助成事業	特別事業	受託事業	家畜登録	事務受託	自主事業	計
農林水産省	3							3
群馬県	9			1				10
農畜産業振興機構	6			1				7
地方競馬全国協会	1							1
家畜登録団体					6			6
その他団体	1	2		16				19
事務受託先						9		9
その他			3				2	5
自己資金							17	17
合計	20	2	3	18	6	9	19	77

(3) 実施事業の内容

1) 公益目的事業

公1(1) 畜産経営の安定を支援する事業 (ア)

ア 肉用子牛生産者補給金制度 (補助：農畜産業振興機構)

肉用子牛の売買価格が保証基準価格、合理化目標価格を下回った場合に生産者補給金を交付する肉用子牛生産安定特別措置法に基づいて、生産者からの申し込みにより肉用子牛の個体登録事務をおこないました。なお、当年度は子牛価格の動きを反映して、補給金の交付はありませんでした。

また、肉用子牛生産者補給金制度を補完する肉用牛繁殖経営支援事業においても発動はありませんでした。

契約戸数： 334 戸（うち経営支援参加戸数 157 戸）

登録頭数： 12,147 頭

（黒毛和種 2,229 頭、交雑種 8,459 頭、乳用種 1,459 頭
その他肉専 0 頭）

①基金造成状況

品種区分	登録頭数 ①	生産者 積立金単価 ②	地域基金造成額			合計 ③+④+⑤
			生産者	群馬県	機構	
			③	④	⑤	
黒毛和種	2,229	1,200	668,700	668,700	1,337,400	2,674,800
褐毛和種	0	4,600	0	0	0	0
交雑種	8,459	2,400	5,075,400	5,075,400	10,150,800	20,301,600
その他肉専	0	12,400	0	0	0	0
乳用種	1,459	6,400	2,334,400	2,334,400	4,668,800	9,337,600
計	12,147		8,078,500	8,078,500	16,157,000	32,314,000

②補給金交付状況

品種区分	交付対象		補給金 交付額
	契約者数	頭数	
黒毛和種			
褐毛和種			
交雑種			
その他肉専			
乳用種			
計	0	0	0

公 1(1) 畜産経営の安定を支援する事業（イ）

ア① 肉用牛肥育経営安定特別対策事業（補助：農畜産業振興機構）

肉用肥育牛の粗収益が生産コストを下回った場合にその差額の一部を補てんする全国的な仕組みにおいて、契約生産者の肥育牛について申し込みにより個体登録事務をおこなうとともに、交付基準を満たした品種等について補てん金を交付しました。補てんは通常、四半期を単位としますが、肉用牛肥育経営の状況を反映し、前年に引き続き、毎月交付を前提とした事務処理を行いました。

契約戸数： 247 戸

登録頭数： 25,863 頭

（黒毛和種 9,668 頭、交雑種 14,269 頭、乳用種 1,926 頭）

補助戸数： 延べ 294 戸

補助頭数： 4,738 頭

（黒毛和種 0 頭、交雑種 3,340 頭、乳用種 1,398 頭）

①基金造成状況

品種区分	積立頭数 ①	生産者積立金単価 ②	基金造成額		合計 ③+④
			生産者積立金	補助金④	
			③=①×②		
肉専用種	33	10,000	330,000	990,000	1,320,000
	12,013	10,000	120,130,000	360,390,000	480,520,000
交雑種	135	25,000	3,375,000	10,125,000	13,500,000
	18,885	25,000	472,125,000	1,416,375,000	1,888,500,000
乳用種	1	17,000	17,000	51,000	68,000
	2,227	26,000	57,902,000	173,706,000	231,608,000
計	33,294		653,879,000	1,961,637,000	2,615,516,000

②補助金交付状況

品種区分	交付対象		補てん金 交付額
	契約者数	頭数	
肉専用種	0	0	0
交雑種	305	3,340	79,233,900
乳用種	94	1,398	71,186,300
計	399	4,738	150,420,200

ア② 肉用牛肥育経営安定特別対策事業 [緊急支援金返還業務] (補助：農畜産業振興機構)

原子力発電所事故の影響をうけ出荷自粛や牛枝肉価格下落により資金繰りが悪化した肉用牛肥育経営に、平成23年度において返還条件付補助金を交付した事業の支援金返還事務を実施しました。

対象戸数： 2戸

イ 畜産物価格安定対策事業 (補助：群馬県)

肉用牛肥育経営安定特別対策事業の生産者積立金の一部(加入頭数の増加分)に補助を行いました。

補助戸数： 246戸

補助頭数： 2,600頭

ウ 価格安定推進支援事業 (自主)

価格差補てん事業に関連した事務を実施しました。

公1(1) 畜産経営の安定を支援する事業（ウ）

ア 養豚経営安定対策事業（受託：農畜産業振興機構）

粗収益が生産コストを下回った場合に、生産者と国の積立金から差額の8割を補てんする事業に関する周知、指導、事務を実施しました。

対象戸数： 162戸

公1(2) 畜産経営の向上を支援する事業（ア）

ア 地域畜産支援指導等体制強化事業（補助：地方競馬全国協会）

地方競馬全国協会の補助金を活用して畜産経営への情報提供や経営指導及び消費者等への理解増進活動、地方競馬の振興等、畜産業を振興する事業を本会の自主事業として実施しました。

対象事業： 12事業

イ 経営流通対策事業（経営指導推進）（補助：群馬県）

畜産経営の経営改善計画、資金利用計画等の作成・達成のための個別支援、畜産経営データベース等の情報化技術を活用した個別・集団支援、畜産経営の高度化に必要な情報の提供や支援、企業的経営等の多様なニーズに対応した経営支援等を実施しました。また、消費者等から求められる安全で安心な国産畜産物の生産、資源循環の中心としての畜産の役割を十分に果たす観点から、畜産農家が求める経営技術に有用な情報を提供しました。

個別指導	：	11回
集団指導	：	3回
計画作成支援	：	19回
計画達成支援	：	56回
生産支援（個別）	：	672回
生産支援（集団）	：	249回
情報提供	：	1,516回

ウ 畜産特別資金等推進指導事業（補助：中央畜産会）

借入金の償還に困難が生じている経営に低利、長期で貸付された畜産特別資金借入者の経営改善を促進するために、指導推進協議会の設置、計画達成指導、経営分析による個別指導等を実施しました。

指導戸数： 23戸

エ 地域畜産基盤維持継続緊急対策事業（助成：中央畜産会）

地域の畜産基盤の維持を図るため、地域内の肉用牛経営に対し、技術レベルの把握、他経営との比較、技術差の原因を究明・改善する相互研鑽等の自主的な取組を支援しました。

対象戸数： 19戸

オ 公庫資金活用推進事業（農業経営サポート調査）（受託：中央畜産会）

日本政策金融公庫資金の貸付先等を対象に、計画作成支援、計画達成支援等を実施する事業ですが、今年度のサポート対象はありませんでした。

カ 女子力発揮推進事業（受託：中央畜産会）

女性を参集し、意見交換等を行うとともに、勉強会等の開催により地域の女性リーダーの育成を図りました。

勉強会： 7回

地域交流会： 1回

キ 貸付事業指導等事業（受託：畜産近代化リース協会）

畜産近代化リース協会が生産者に貸付けた機械・車両等の保守管理及び適正な使用に関する指導及び調査を実施しました。

調査基数： 14基

ク 畜産クラスター機械導入事業（受託：中央畜産会）

畜産クラスター事業のうち機械導入事業について、その円滑な実施を図るため、参加要望書の取りまとめ、申請業務等、事業推進を行いました。

協議会数： 8協議会

申請機械件数： 25基

ケ 女性・リタイヤ世代等就農定着等推進事業（受託：中央畜産会）

円滑な就農を推進し定着を支援するために、企画検討会やセミナーの開催、事例調査、営農指導等の事業を実施しました。

企画検討会等： 2回

先進地調査・相談窓口の設置： 2回

研修会： 1回

コ 畜産・酪農生産力強化対策事業（受託：中央畜産会）

家畜の生産性に係るデータ等の収集を実施し、家畜の生産性向上を図るためのデータ分析・技術指導を実施しました。

対象牧場数： 3牧場

サ 公共牧場活性化支援事業（自主）

家畜の育成等を目的とした公共牧場の牧場職員及び関係者を対象に管理技術等に関する研修会を開催しました。

研修会： 1回

シ 畜産環境保全支援事業（自主）

補助事業等により設置した家畜排せつ物処理施設の抱えている課題等に関する現地調査および現地指導を実施、さらに畜産環境保全に必要な知識の涵養を図る研修会を開催し、家畜ふん尿の適切な処理を推進しました。

現地調査及び指導戸数： 1戸

研修会： 1回

ス 畜産協会情報提供事業（自主）

畜産農家に有用な情報等を収集し、情報誌として生産者、関係団体等に配布するとともに、本会ホームページ等を活用し広く情報提供を行いました。

発行回数： 4回

発行部数： 632部

セ 豚枝肉格付分析情報提供事業（自主）

豚枝肉格付データを収集し、独自の分析を加えた高品質豚肉生産のための情報を提供しました。

参加戸数： 71戸

公1(2) 畜産経営の向上を支援する事業（イ）

ア 獣医師養成確保修学資金貸与事業（補助：農林水産省）

群馬県内で産業動物獣医師になることを希望する獣医学生に共同負担者分と併せて修学資金を貸与しました。

貸与人数： 18人

イ 酪農経営安定化支援ヘルパー事業（補助：農畜産業振興機構）

酪農従事者の病気等により増加した酪農ヘルパー利用料、酪農ヘルパー業務において生じた財物損害保険料及び臨時ヘルパーの傷害保険料の一部を補助しました。

対象組合数： 11組合

ウ 酪農ヘルパー傷病時等利用互助事業（補助：農畜産業振興機構）

酪農従事者の病気等により増加した酪農ヘルパー利用料の負担を軽減するための互助基金に対しての補助を行いました。

加入人数： 774名

エ 酪農ヘルパー事業円滑化支援事業（特別）

酪農ヘルパー利用組合の運営、要員確保・育成等に必要な経費を補助しました。

対象組合数： 10 組合

オ 酪農ヘルパー労働環境整備事業（自主）

酪農ヘルパーの出役中の事故等に備えるため補償制度を構築しました。

対象組合数： 11 組合

カ 酪農ヘルパー傷病時等利用互助事業事務費（自主）

酪農ヘルパー互助金の交付事務等を実施しました。

対象件数： 57 件

キ 畜産人材確保育成事業（自主）

畜産農家の雇用、新規参入、継承のための相談等を実施しました。研修活動の実施はありませんでした。

就業等相談： 24 名

現場研修等： 0 日

公 1 (3) 家畜及び畜産物の安全性確保と理解醸成に関する事業（ア）

ア 生産振興対策事業（県産鶏卵販売強化）（補助：群馬県）

銘柄卵の啓発資材を作成し、県産銘柄卵を含む鶏卵の消費拡大を図りました。

イベント回数： 1 回

パンフレット作成： 1,000 部

イ 地方競馬支援対策事業（自主）

地方競馬の振興と群馬県産畜産物の知名度向上を図るため、浦和競馬場において冠レースを開催し、副賞授与を行いました。

イベント回数： 1 回

ウ 畜産普及啓発推進事業（自主）

一般消費者を対象に、畜産への理解を深めるための資料配布を行いました。

イベント回数： 1 回

エ 牧場宿泊体験交流事業（自主）

酪農場において、搾乳、飼料給与、畜産物加工などの体験交流を実施し、畜産への理解を情勢しました。

日帰型： 1 回、22 名

1泊型： 1 回、15 名

オ 群馬の堆肥普及事業（自主）

一般消費者を対象に、畜産堆肥の有用性に関する啓発資料の配布及び堆肥の無料配布を実施し、畜産に対する理解醸成と堆肥の利用促進を図りました。

実施回数： 1回

参加者数： 500名

公1(3) 家畜及び畜産物の安全性確保と理解醸成に関する事業（イ）

ア 死亡牛緊急検査処理円滑化推進事業（補助：農林水産省）

48ヶ月令以上の死亡牛のBSE検査に要する運賃、検査料を補助し、BSE検査の円滑な実施を図りました。

補助戸数： 456戸

補助頭数： 1,572頭

イ 牛せき柱適正管理推進事業促進費交付業務（受託：日本畜産副産物協会）

特定危険部位である牛せき柱の適正な管理を実施した食肉処理事業者に支払われる促進費の交付に必要な確認事務を実施しました。

対象事業者数： 4社

公1(3) 家畜及び畜産物の安全性確保と理解醸成に関する事業（ウ）

ア 家畜防疫互助基金支援事業（補助：農畜産業振興機構）

海外悪性伝染病が発生した場合に、淘汰した牛、豚の代替畜の導入費用の一部を生産者等が互助補償する全国的な仕組みについて、生産者に対する普及啓発、参加手続き事務等を実施しました。

牛農場： 757戸 96,660頭

豚農場： 172戸 598,479頭

公1(3) 家畜及び畜産物の安全性確保と理解醸成に関する事業（エ）

ア 家畜生産農場清浄化支援対策事業（補助：農林水産省）

牛白血病浸潤農場の検査及び吸血昆虫媒介疾病等の発生・流行防止、牛ウイルス性下痢・粘膜病の検査及び感染持続牛の淘汰、牛豚飼養農場の飼養衛生管理基準に基づいた衛生指導に必要な費用の一部を補助しました。

ヨーネ病牛淘汰： 1頭

牛白血病検査： 1,494頭

BVD検査： 323頭

BVD牛淘汰：	24頭
BVDワクチン接種：	301頭
AD検査：	4,650頭
ADワクチン接種：	45,350頭
衛生管理巡回：	289頭
牛予防液接種：	8,288頭

イ 家畜衛生対策事業（補助：群馬県）

豚オーエスキー病清浄化のための同病ワクチン接種のための補助金を交付しました。

交付頭数： 7,060頭

ウ 豚オーエスキー病清浄性維持事業（受託：群馬県）

豚オーエスキー病対策のための検討会の開催及びワクチン接種に掛かる経費補助関連の事務を行いました。

検討会議： 1回

公1(3) 家畜及び畜産物の安全性確保と理解醸成に関する事業（オ）

ア 農場HACCP認証普及推進支援対策事業（受託：中央畜産会）

農場のリスクマネジメントに有用な方式であるHACCPの実施体制等について認証する農場HACCP認証の普及を図るため、農場における衛生管理状況、取組上の問題点等について協議し、農場HACCP構築支援を行いました。

指導戸数： 7戸

イ 生産振興対策事業（優良はちみつ生産）（補助：群馬県）

はちみつの抗生物質等の残留検査に必要な経費の一部を補助して、群馬県産はちみつの品質向上を図りました。

検査件数： 130 検体

ウ 予防注射推進強化対策事業（助成：中央畜産会）

自衛防疫事業の効率的な推進及び予防注射接種率向上のための普及啓発を行いました。

エ 地域自衛防疫体制推進事業（受託：家畜衛生対策推進協議会）

地域における自主防疫活動の普及啓発のため、家畜防疫の重要性についての活動を行い、伝染性疾病の発生予防など、防疫措置の徹底を推進しました。

防疫演習： 4地域、5回

白血病対策： 6農場

マイコプラズマ性乳房炎対策： 23 農場

オ 飼養衛生管理基準等緊急啓発普及促進事業（受託：中央畜産会）

飼養衛生管理基準の普及啓発により、生産段階における防疫措置、体制の強化を図るため説明会等を開催し、飼養衛生管理基準の普及推進を行いました。

委員会： 2 回

説明会： 2 回

カ 豚流行性下痢（PED）まん延防止体制支援促進事業（受託：中央畜産会）

PED防疫マニュアルに基づき、獣医師による農場衛生指導及び農場を設定して感染確認検査を実施し、PEDまん延防止対策を行いました。

農場衛生指導： 361 回

感染確認検査： 9 戸

キ 野生獣衛生体制整備緊急対策事業（受託：家畜衛生対策推進協議会）

家畜疾病の感染源となりうるイノシシ、シカの抗体保有状況等を調査するため狩猟者、関係機関との連携のもとに衛生検査を実施し、結果を検討しました。

イノシシ： 16 頭

シカ： 11 頭

ク 馬インフルエンザ等防疫強化特別対策事業（受託：中央畜産会）

馬伝染性貧血の清浄性確保のための調査の実施及び検討会の開催を行いました。

対象戸数： 67 戸

検討会： 1 回

ケ 馬飼養衛生管理特別対策事業（受託：中央畜産会）

競走馬以外の馬について飼養衛生管理等に関するアンケート調査を行い馬衛生管理技術の向上を図りました。また、馬飼養者を対象とした講習会を実施しました。

対象戸数： 34 戸

講習会： 1 回

実習： 1 回

委員会： 1 回

コ 馬伝染性疾病防疫推進対策事業（受託：中央畜産会）

乗用馬等の馬インフルエンザ予防のため、検討会を開催し、同病のワクチン接種等について促進しました。

対象戸数： 14 戸

助成頭数： 269 頭

検討会： 2回

サ 農場飼養衛生管理強化推進事業（自主）

家畜生産農場の衛生強化のため、国補助事業・農場飼養衛生管理強化対策事業に該当しない農場指導について補助を行いました。

対象農場： 1農場

シ オーエスキー病抗体検査促進事業（自主）

群馬県オーエスキー病対策協議会で特にワクチン接種が必要と定めた農場とその周辺農場に対し、1農場14頭を限度として抗体検査費用を補助しました。

対象農場： 2農場

対象頭数： 28頭

ス 家畜衛生推進事業（自主）

家畜生産農場清浄化のため、予防注射に必要な資材の購入、注射に要した費用の支払い等の事務を実施しました。

牛： 371戸 11,649頭

豚： 64戸 256,954頭

セ 群馬県種鶏場等衛生対策事業（自主）

県内種鶏場、育成場の衛生管理向上を目的に鶏のオールアウト後のサルモネラ検査を家畜保健衛生所等に依頼し実施した場合に、その経費を補助しました。

実施数： 6件、60検体

公1(4) 家畜の能力向上を促進する事業

ア 肉用牛経営安定対策補完事業（補助：農畜産業振興機構）

1年間に要件を満たす繁殖雌牛を増頭した肉用牛経営に対し、その増頭実績に応じて奨励金を交付しました。

交付戸数： 46戸

交付頭数： 185頭

イ 生産振興対策事業（家畜登録促進）（補助：群馬県）

家畜の血統整理や登録・登記を推進するため、有資格者の育成、研修会への派遣を行いました。

派遣人数： 17名

ウ 生産振興対策事業（優良繁殖雌牛増頭）（補助：群馬県）

県内で肥育された肉牛の産肉データ6形質を収集して育種価を解析しました。また、これを広く公表することにより県内産肉牛の能力向上を図りました。更にその結果を解説する研修会を開催しました。

データ数： 78,534 件

評価頭数： 4,852 頭

研修会： 1 回

エ 生産振興対策事業（乳牛等改良促進）（補助：群馬県）

各畜種ごとに群馬県畜産共進会を開催しました。また、関東地区ホルスタイン共進会への出品対策を実施しました。

① 群馬県畜産共進会出品頭数

乳牛： 72 頭

繁殖和牛： 49 頭、12 組

肉豚： 98 頭、13 組

山羊： 37 頭

② 関東地区ホルスタイン共進会出品頭数

乳牛： 16 頭

オ 生産振興対策事業（高能力種豚安定供給体制確立）（補助：群馬県）

養豚農場へ導入した優良種豚の経費の一部を補助し、飼養管理に関する研修会を開催しました。

研修会： 1 回

導入頭数： 12 頭

カ 高能力繁殖雌牛保留推進事業（特別：家畜改良積立金）

繁殖能力の向上を図るため、高等登録牛から生産される雌子牛の保留を促進するために奨励金を交付しました。

交付頭数： 12 頭

キ 和牛全共出品対策事業（特別：家畜改良積立金）

第11回全国和牛能力共進会の出品対策のための計画策定、出品候補牛調査、広報活動等を実施しました。

指導組合数： 8 組合 対策委員会： 1 回

調査対象頭数： 165 頭 対策部会： 3 回

ク 肉用牛産肉能力平準化促進事業（受託：家畜改良事業団）

肉用牛の産肉能力を評価するために、種雄牛を指定して交配する調整交配の手配、調査

牛の取りまとめ頭を実施しました。

調整交配実施頭数： 72 頭

生産調査牛： 62 頭

ケ 家畜共進会運営強化推進事業（自主）

地域で行う家畜共進会の実施に必要な費用の一部を助成しました。

対象共進会数： 7 件

コ 和牛期待育種価情報提供サービス事業（自主）

父牛及び母牛の育種価から推定される生産子牛の期待育種価情報をインターネット上で提供しました。

利用者数： 6 名

サ 山羊生産活用推進事業（自主）

日本ザーネン種山羊の普及、活用を推進するための情報交換を行いました。

参加者数： 66 名

2) 収益事業等

収 1(1) 家畜の登録団体からの業務委託に関する事業

ア 家畜登録事業（自主）

登録申し込みのあった家畜（乳牛、和牛、豚、山羊）の個体の確認、体型・特徴の記録、DNA検査のための試料の採取、血統の確認、登録料の代行収受、登録手続、登録証の送付等の事務を実施しました。

	登録・登記・ 審査・検定	調査及び 移動証明
乳牛	3,337 頭	412 頭
和牛	7,575 頭	2,162 頭
種豚	262 頭	2,401 頭
山羊	61 頭	0 頭

収 1(2) 畜産生産者からの事務受託等に関する事業

ア 養豚経営安定対策推進事業（生産者事務受託）

養豚経営安定対策事業への参加申し込み、補助金受け取り手続き等の申請等事務を事業参加者から受託して実施しました。

受託戸数： 135 戸

契約頭数： 499,654 頭

3) その他の事業

他 1(1) 畜産団体からの事務受託に関する事業

事務受委託契約に基づき、団体の事務を受託、実施しました。

(団体事務受託： 8 団体)

- ①群馬県乳牛改良協会
- ②群馬県和牛改良組合連絡協議会
- ③群馬県養豚協会
- ④群馬県養鶏協会
- ⑤群馬県種鶏孵卵協会
- ⑥群馬県養蜂協会
- ⑦群馬県家畜人工授精師協会
- ⑧群馬県畜産技術連盟

他 1(2) その他事業

廃棄物の処理と清掃に関する法律に基づく家畜の死体処理に必要な産業廃棄物管理票（マニフェスト）の販売、畜産生産者が家畜の抗体検査等を群馬県に依頼する場合に必要な証紙の売りさばき、畜産に関する情報提供、畜産に関する印刷物の販売等、本会が実施する事業に付随する畜産の振興を図るための事業を行いました。